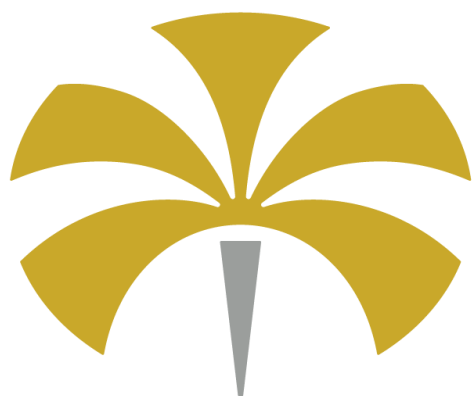


2023 年度

公立大学法人大阪 大阪公立大学
看護師特定行為研修 募集要項
【 2次募集 】



Osaka
Metropolitan
University

〒 545-8586
大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
大阪公立大学医学部附属病院 看護部 看護師特定行為研修事務局
TEL : 06-6645-2501
FAX : 06-6646-6011

1. 大阪公立大学医学部附属病院の沿革、理念・基本方針

公立大学法人大阪 大阪公立大学は、2022年4月、大阪府立大学、大阪市立大学を母体に、幅広い学問領域を擁する全国最大規模の公立総合大学として誕生しました。このうち、大阪市立大学は、1880年に創設された大阪商業講習所を源流とした歴史ある大学であり、これまで豊かな人材を輩出してきました。

大学の附属施設である医学部附属病院は、地域医療の中核を担い、高度急性期病院としての役割を果たしています。

1) 大阪公立大学医学部附属病院の理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき
地域住民の健康に寄与する質の高い医療を提供します
こころ豊かで信頼される医療人を育成します
医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

2) 大阪公立大学医学部附属病院の基本方針

- ・患者さん本位の安全で質の高い医療を提供します
- ・地域医療の向上に寄与します
- ・健康・予防医学を推進します
- ・最新の高度医療の提供をします
- ・人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- ・質の高い多彩な研究を推進します

2. 大阪公立大学医学部附属病院における特定行為実践の目指すところと看護師特定行為研修の特徴

1) 大阪公立大学医学部附属病院における特定行為実践の目指すところ(メトロポリタンモデル)

本院における看護師特定行為は、高度急性期病院としての特徴を活かし、急性重症者(主に人工呼吸療法)対応を主に据え、集中治療センター(ICU/CCU)・救命救急センター・HCUなどの重症系ユニットでの実践をメインとします。重症系ユニット以外の病棟においては、医療チームに紐づいて特定行為を実施します。

2) 看護師特定行為研修の特徴

メトロポリタンモデルを志向し、さまざまな病態や治療を学び、それらに対する思考・分析、特定行為実践を経験します。研修生の所属部署、専門領域に応じて、修了後の特定行為実践を想定した内容の研修を行っています。

3) 区分別科目

区分別科目は、「集中治療領域パッケージ」に特定行為:直接動脈穿刺法による採血を加えたオリジナルコース「急性重症ケアコース」と、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」から、選択することができます(集中治療領域パッケージは承認申請中、2023年2月承認予定)。

(1) オリジナルコース「急性重症ケアコース」

集中治療医、心臓血管外科医などとのチーム医療を推進し質の高い治療や看護を提供する特定行為をパッケージ化した「集中治療領域パッケージ」に、特定行為:直接動脈穿刺法による採血を加えたオリジナルのコースです(集中治療領域パッケージは承認申請中、2023年2月承認予定)。

(2) 特定行為区分

重症系ユニット以外の病棟における医療チームに紐づく行為実践を想定した特定行為区分です。これには「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」があ

り、いずれか一方または両方を選択、あるいは(1)のオリジナルコース「急性重症ケアコース」に追加することが可能です(下表参照)。

表 区分別科目選択パターン例

	パターン ①	パターン ②	パターン ③	パターン ④	パターン ⑤	パターン ⑥	パターン ⑦
オリジナル コース 急性重症 ケア	○	○	○	○			
栄養水分 管理		○	○		○	○	
血糖 コント ロール		○		○	○		○

3. 特定行為研修の教育目的と教育目標

1)教育目的

本院の理念をもとに、質の高い安全な医療が提供できる優れた実践能力、高度な専門知識を有し医学・看護の視点から多様な臨床場面において役割モデルとしての実践力を発揮でき、「チーム医療」を推進できる調整力、問題解決能力を有する看護師を育成する。

2)教育目標

- (1)地域医療または高度先進医療の現場において重大な病態の変化や疾患を包括的にアセスメントし、当該特定行為を行うための知識・技術・態度の基礎的な能力を養う
- (2)患者の倫理面・安全面に配慮して、必要な特定行為を実施する基礎的な能力を養う
- (3)円滑なチーム医療推進のため、多職種が高い専門性を発揮し、協働して効果的に問題解決を行うための調整役としての能力を養う
- (4)自己研鑽を継続し、医学的・看護的視点において看護実践を確立する能力を養う

4. 研修内容と時間数

研修は、特定行為の基礎となる共通科目(必須)と、選択制の区分別科目からなります(参照:2023年度学年暦)。

医学教育経験に実績のある医師、専門・認定看護師、特定行為研修修了者を指導者として各科目に配置し、シミュレーターが豊富に揃う医学部スキルシミュレーションセンター(SSC)での演習・実習など効果的な学習が実施できる体制を確保しています。また、学習はeラーニングを用いることで就業しながら行うことができ、集合研修や臨地実習においても、大阪市内という立地からアクセスが良く、通学しやすい環境にあります。

1)共通科目

- ・講義はeラーニングを活用し、個人で視聴・学習をします。

・演習・実習は、月に 2～3 回程度の指定日に医学部学舎、または医学部附属病院に集合し研修を実施します。

共通科目名	合計時間数	講義・演習・実習時間数	評価方法
臨床病態生理学	30 時間	講義 27 時間 演習 2 時間	・筆記試験(1 時間)
臨床推論	45 時間	講義 35 時間 演習 8 時間 実習 1 時間	・筆記試験(1 時間) ・実習の観察評価
フィジカルアセスメント	45 時間	講義 39 時間 演習 3 時間 実習 2 時間	・筆記試験(1 時間) ・実習の観察評価
臨床薬理学	45 時間	講義 35 時間 演習 9 時間	・筆記試験(1 時間)
疾病・臨床病態概論	40 時間	講義 34 時間 演習 4 時間	・筆記試験(2 時間)
医療安全学	45 時間	講義 22 時間	・筆記試験(1 時間)
特定行為実践		演習 13 時間 実習 9 時間	・実習の観察評価

2) 区分別科目

- ・講義・演習は、eラーニングを活用します。演習は集合して研修します。
- ・実技試験(OSCE)は、医学部スキルシミュレーションセンターで実施します。
- ・実習は、医学部附属病院の急性重症、救急領域部門、一般病棟及び外来等で行います。
- ・共通科目を修得した後、区分別科目として、オリジナルコース「急性重症ケアコース」(「集中治療領域パッケージ」+特定行為:直接動脈穿刺法による採血)、あるいは特定行為区分「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」、「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」を選択して履修します。
- ・実習では、特定行為ごとに臨床実践を5症例以上実施することが必要です。実習、実習中の観察評価は、医学部附属病院で実施します。

(1) 急性重症ケアコース(「集中治療領域パッケージ」+特定行為:直接動脈穿刺法による採血)

特定行為区分・特定行為	時間数	評価方法
呼吸器(気道確保に係るもの)関連 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	10.5 時間	・筆記試験 ・実技試験(OSCE) ・実習の観察評価
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 侵襲的陽圧換気の設定の変更、人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整、人工呼吸器からの離脱	24 時間	・筆記試験 ・実習の観察評価
循環器関連 一時的ペースメーカーの操作及び管理	11 時間	・筆記試験 ・実習の観察評価
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連 中心静脈カテーテルの抜去	8.5 時間	・筆記試験 ・実習の観察評価

動脈血液ガス分析関連 橈骨動脈ラインの確保 + 直接動脈穿刺法による採血	10.5 時間 + 5 時間	・筆記試験 ・実技試験 (OSCE) ・実習の観察評価
循環動態に係る薬剤投与関連 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整、持続点滴中のナトリウム、カリウム及びクロールの投与量の調整、持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	21 時間	・筆記試験 ・実習の観察評価

(2) 特定行為区分と時間数(評価時間含む)

特定行為区分・特定行為	時間数	評価方法
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整、脱水症状に対する輸液による補正	17 時間	・筆記試験 ・実習の観察評価
血糖コントロールに係る薬剤投与関連 インスリンの投与量の調整	17 時間	・筆記試験 ・実習の観察評価

5. 研修期間

2023 年 4 月 1 日(土)～2024 年 3 月 31 日(日) 1 年間

前期:2023 年 4 月 1 日(土)～2023 年 9 月 30 日(土) (共通科目 履修期間)

後期:2023 年 10 月 1 日(日)～2024 年 3 月 31 日(日)

選択した区分別科目数によって研修期間は異なります。

*集合研修・実習時間 8:30～18:00 (状況に応じて調整実施)

6. 修了要件

本研修を修了するためには、以下の要件を満たす必要があります。

共通科目履修後の筆記試験に合格し、区分別科目履修後に実技試験、実習中の観察評価、筆記試験など科目ごとの合格を要件とします。

なお修了判定は特定行為研修管理委員会で行われます。

7. 応募要件

看護師特定行為研修の応募に当たり下記の要件すべてを満たしていることが必要となります。

- 1) 日本国の看護師免許を取得している
- 2) 看護師経験年数が通算 5 年以上、かつ、希望する特定行為領域部門の看護経験が 3 年以上ある
- 3) 所属施設において特定行為研修中における協力、研修受講後の活動への支援が得られる
- 4) 所属施設における看護師の特定行為を進める方針を含めた推薦理由を所属長から受けることができる

8. 定員

定員: 共通科目・区分別科目 指定枠・一般枠併せて 若干名

指定枠: 大阪公立大学医学部附属病院に所属する看護職

一般枠: 上記施設以外に所属する看護職

9. 出願手続き

2022年12月15日(木)～2023年1月13日(金) 必着

*直接持参の場合は、1月13日(金) 17時を提出期限とします。

*募集要項、応募書類は、大阪公立大学医学部附属病院ホームページよりダウンロードしてください。

大阪公立大学医学部附属病院ホームページ「看護師の特定行為に係る研修について」



<https://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/nurse/training/dl.shtml>

10. 出願提出書類

- 1) 看護師特定行為研修志願書 (様式1)
- 2) 履歴書 (様式2)
- 3) 志願理由書 (様式3)
- 4) 推薦書 (様式4) *一般枠のみ提出。厳封のこと
- 5) 看護師免許証の写し 1枚
- 6) 受講審査料(¥12,000 消費税含む)の振込用紙控え

受講審査料 振込先

三井住友銀行(0009)大阪公務部(045)

普通口座番号「138651」口座名「公立大学法人大阪」

*振込手数料は受講希望者の負担となります

*受講審査料の納入期日は、出願手続き期間締切日の1日前です。1月13日(金)に本学で納入が確認できるよう、前日までに納入してください。

*なお、提出された出願書類、受講審査料は返却いたしません。

*提出書類の記入にあたって

申請書類	様式	記入方法と注意事項
看護師特定行為研修志願書	1	・受付番号は空欄とする ・記載は自署とする
履歴書	2	・受付番号は空欄とする ・所属施設名は正式名称を記載する ・Eメールアドレスは、携帯電話やGmail、Yahoo!メールなどのフリーメールでも可。但し、選考試験に関する重要なお知らせが配信される可能性があるため、受験終了まで変更や削除の可能性がなく、日常的に確認しやすいメールアドレスを記入する ・「所属部署あるいは所属長の推薦」欄は、指定枠では所属部署師長、一般枠では所属長が、自筆で記載し押印する
受講動機	3	・受付番号は空欄とする ・受講動機 「看護師として活動している状況と課題を踏まえ、特定行為研修を受講し今後の抱負について」記載する

推薦書 *一般枠のみ提出	4	<ul style="list-style-type: none"> ・受付番号は空欄とする ・推薦書は、本人が所属する所属長が、応募者に特定行為研修修了後に期待する役割等について記載する ・厳封すること
-----------------	---	---

- ・提出書類は過不足なく記入する。書類に不備がある場合は受理できないこともある。
- ・自署以外は、パソコンで入力可とする。ボールペンを用いて記載し、消せるペンを使用しない。
- ・年号はすべて西暦表示とする

11. 出願書類提出方法

上記の出願書類を封入の上、角形2号(A4)封筒に「特定行為研修 志願書在中」と朱書きのうえ、以下の提出先に必ず「簡易書留」で送付するか、または直接持参してください。

提出先及び問い合わせ窓口

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号 大阪公立大学医学部附属病院 看護部 看護師特定行為研修事務局 阿部美佐子 TEL: 06-6645-2501 FAX: 06-6646-6011

12. 選考方法及び日時、場所

選考方法: 書類審査および面接

- * 受講審査料の納入が確認できた方に、面接に関する通知を郵送します。
- * 面接は、2023年2月上旬に実施する予定です。
状況によってWeb面接になる可能性があるため、Web形式で面接が受けられる環境を整えておくこと。
(パソコン・タブレット、ネットワーク環境、Webカメラ・マイクなど)
- * 選考試験の詳細は、本人宛に郵送致します。

13. 合否発表

- * 受験者に合否通知書を郵送します。
- * 電話やFAXでの合否問い合わせには応じません。

14. 受講手続き

合否通知の際に、受講手続き及び研修受講料の振込についての詳細をご案内します。
なお、受講にあたっては「看護職賠償責任保険」の加入が必須となります。

15. 研修受講料(税込み)

共通科目	区分別科目		
	急性重症ケアコース	特定行為区分	
	集中治療領域パッケージ + 特定行為 直接動脈穿刺法による採血	栄養水分管理に係る薬剤投与関連	血糖コントロールに係る薬剤投与関連
¥336,600	¥385,000	¥55,000	¥55,000

*研修受講料は、共通科目＋区分別科目の合計金額となります。

例えば、急性重症ケアコースを受講する場合(p.2 表 区分別科目選択パターン例 パターン①)は ¥721,600 です。また、特定行為区分で栄養水分管理だけを選択する場合(パターン⑥)は ¥391,600、栄養水分・血糖コントロール双方を選択する場合(パターン⑤)は ¥446,600、あるいは急性重症ケアコースと血糖コントロールを選択する場合(パターン④)は ¥776,600となります。

*上記費用の他に、テキスト費用等が発生することがあります。

16. 備考

- 1) 提出書類は、この選考試験にのみ使用します。但し、合格者の提出書類については、合格後の事務手続きなどに使用することがあります。
- 2) 提出書類は、「大阪府個人情報保護条例」及び「公立大学法人大阪における個人情報の取り扱い及び管理に関する規程」に基づき適正に管理します。
- 3) 受験資格がないこと及び申込用紙記載事項が正しくないことが判明した場合、合格を取り消すことがあります。

2023年度学年暦（急性重症ケアコースを履修する場合の研修進捗の一例）

共通科目予定表（演習・実習）

研修日	科目名	研修方法
4月7日（金）	オリエンテーション	
4月26日（水）	臨床病態生理学	演習
5月11日（木）	疾病・臨床病態概論	演習
5月26日（金）	臨床薬理学	演習
	臨床推論	演習
6月1日（木）	臨床推論	実習
6月13日（火）	フィジカルアセスメント	演習 実習
	実習オリエンテーション	
6月27日（火）	フィジカルアセスメント	実習
	医療安全学／ 特定行為実践	演習
7月10日（月）	臨床推論	実習
	フィジカルアセスメント	実習
7月24日（月）	医療安全学／ 特定行為実践	演習 実習
8月8日（火）	医療安全学／ 特定行為実践	演習 実習
8月24日（木）	医療安全学／ 特定行為実践	実習
	区分別実習オリエンテーション	
8月未定	予備日	

研修日	研修場所（予定）	研修方法
9月～ 9月下旬	医学部会議室 スキルスシミュレーションセンター	演習 実技指導・OSCE
9月下旬～ 10月	救命救急センター 集中治療センター （ICU/CCU） HCU、中央手術部 外科・内科病棟 生活習慣病・糖尿病センター （1名～2名でローテーション実施）	患者を受け持ち実習 （実習観察評価は随時）
11月	救命救急センター 集中治療センター （ICU/CCU） HCU、中央手術部 外科・内科病棟 生活習慣病・糖尿病センター （1名～2名でローテーション実施）	患者を受け持ち実習 （実習観察評価は随時）
12月	救命救急センター 集中治療センター （ICU/CCU） HCU、中央手術部 外科・内科病棟 生活習慣病・糖尿病センター （1名～2名でローテーション実施）	患者を受け持ち実習 （実習観察評価は随時）
年末 年始	休校	
1月	補講日、振り返り会	
2月	修了判定会議	
3月	修了式	

共通科目予定表について

- * 各月の日程は決定次第公表する
- * 各科目の修了試験は講義時間に含む
- * 特定行為実践における実習は内容により区分別科目実習にて実施する
- * 共通科目の進捗は学習内容によって変更することがある

区分別科目実習予定表について

- ・ 区分別科目研修期間は選択科目数によって異なる
- ・ 区分別科目の研修期間・研修場所は、経験する症例数・内容によって変更することがある
- ・ 区分別科目の進捗は各研修生によって異なる
- ・ 区分別科目研修で経験する症例数は5～10例程度を目安とする
- ・ 区分別科目の研修は各部署で1～2名の研修生とする
- ・ 経験する症例数に満たない場合は1月を補講日とする